

議会のだより

12月定例会

平成22年第6回定例会を12月7日(火)から9日(木)までの会期で開催しました。

内容は、議員発議による「子宮頸がんを予防するワクチン接種の公費助成及び検診受診率向上対策の充実を求める意見書」1件、第五次大泉町総合計画基本構想やいずみの杜を含む3件の指定管理者の指定、平成22年度の一般会計補正予算など議案9件を、すべて原案の通り可決しました。

請願2件については継続審議となりました。一般質問では、7人の議員が登壇し、まちづくり全般について質問しました。

なお、詳しくは、会議録(大泉町図書館)、または大泉町議会ホームページをご覧ください。

議員発議

「子宮頸がん予防ワクチンの公費助成」を国へ意見書

女性特有のがんである子宮頸がんにより、日本では毎年約1万5000人が発症し、約3400人が死亡しています。この子宮頸がんの発生は、予防接種を行うことによって高い抑制効果が期待

できることから、次の内容について、国の関係機関に意見書を提出しました。

□意見書の内容

- ①国による全国一律の公費負担、あるいは公的医療保険制度の適用により、被接種者の費用負担の軽減措置を講じ、HPVワクチン接種の普及を図ること。全額公費負担による10代前半(11歳～14歳)の女兒への無料接種を早期に実現すること
- ②ワクチン接種を促進し、子宮頸がん検診の受診率を向上させるため、政府として積極的な広報活動をして普及啓発に努めること

□意見書の提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣



厳しい寒さの中、元気に咲く臘梅

【一ロメモ】

「HPVワクチン」とは、子宮頸がんの予防に有効なワクチンのことです。

なお本町では、2月より国50%、町50%の補助により、対象者は無料でHPVワクチンの接種が受けられるようになりました。

一般質問

Q メガソーラの導入で新エネルギーの活用を

A 先進地の取り組みを参考に調査研究します

青木 満 議員

地球温暖化などの環境悪化の主因とされるCO₂(二酸化炭素)を発生させない大規模クリーンエネルギーとして、現在、普及が期待されているメガソーラ(大規模太陽光発電所)があります。本町の庁舎や公共施設関係などに

排出量の削減が予想されます。既に、全国規模で実証試験や建設にむけた研究が進められています。今後、先進地の実証試験結果や稼働状況などと併せ、敷地面積、日照時間や投資額など調査、研究していきます。

新エネルギー導入を推進し、また、設置場所には、遊休地、公共用地他、利用できる土地などを活用するなど、先進都市を

町長

メガソーラが実現されると多くの二酸化炭素



ソーラシステムを導入した町施設

Q トップセールスでの地域経済の活性化対策は

A 実現化に向けて積極的に検討します

渡邊 明 議員

① 町内企業の動向について、S社とP社への訪問・要請の内容は



「活かな世界のグルメ横丁」支援で元気な町を

② 町の「産業立地奨励制度」の成果は
 ③ 農業を守る立場からTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の見解は
 ④ 「住宅リフォーム助成制度」(創設)の考えは
 ⑤ 元気な町と観光化を目指している「グルメ横丁」のイベント会場への支援策は

町長

① S社へは本町の製作所を生産拠点とし社員の雇用拡大を、P社へはS社工場の生産活性化や雇用の

確保と町内中小企業の活用をお願いしました
 ② 実績は出ていないが今後「制度」の延長と内容について検討します
 ③ 「全国町村長大会」で参加反対の決議がされました
 ④ 建設業者の支援と町民の住環境の向上になるので今後検討します
 ⑤ 屋外ステージの実現化を考えています

一般質問

Q 町立保育園の民間委託計画の廃止を

A 引き続き調査研究を進めていきます

金子光国 議員

町の行革大綱に、町立保育園3園の民間委託計画が示されています。平成16年小泉内閣の三位一体改革により、国庫負担金が一般財源化され、さらに平成17年に延長保育補助金、平成18年に施設整備費が一般財源化されて、公立保育園の運営に必要な財源負担は、町が負う形になっています。しかし、これからの町の将来を担う子どもたちを育てる観点からも、民間委託計画は、廃止する必要がありますと考えますが、町長の答弁を求めます。



公立保育園事業の継続を

町長

第4次行革大綱の実施計

画の中に、町立保育園を民間委託する計画があります。現在委託に至っていません。厳しい財政状況の中、町としてどのような方向性が良いか、引き続き調査研究を進めていきます。また、臨時保育士が多いとの指摘ですが、正規保育士については、計画的に採用していきます。

Q 北関東に姉妹都市を提携する考えは

A 大泉町活性化の手法として検討します

田邊信雄 議員

大泉町活性化の一つの手立てとして、国内姉妹都市の提携があると思います。今年3月に北関東自動車道が全線開通するのを機に、商工業・文化・教育面など、多角的な互恵関係が期待でき、大泉町と歴史的に深いつながりのある栃木県小山市、茨城県結城市は、姉妹都市提携の有力な候補地だと思いますが、町長はどう考えますか。

町長

太田市では愛媛県今治市と、旧尾島町でも青森県弘前市と、歴史的背景を基として姉妹都市を提携しています。



結城市の歴史的街並みと着物まつり

す。大泉町でも、活性化のための手法として、歴史・文化を大切にし、歴史的つながりのある姉妹都市を提携することについては検討していきます。

一般質問

Q がん対策で町民の命と健康の保持を

A 健康で幸福な生活のため、調査研究します

津久井明人 議員

本町町民の主要死因は、昨年274人のうち「がん」で亡くなられた人が86人、31%と第1位を占めています。がん検診の受診率は低迷が続き、さらに、検診で見つからない肝臓やすい臓がんなど、その他のがんも年々増加し、その死亡率は高くなっています。

がん検診以外の健診一部負担金の見直しと合わせて検討します。また、その他のがん対策や条例制定は、町民の健康で幸福な生活に向け、今後調査研究したいと考えています。

救えるはずの町民の命と健康を守る仕組みづくりや体制の整備は、行政として重要な役割です。がんの予防と早期発見・早期治療の推進を図るため、検診費用の軽減やその他のがん対策と、町民一丸となって取り組む条例制定について町長はどう考えていますか。

町長

検診費用の軽減は、



定期的に行われているがん検診

Q 在宅介護慰労金の増額は

A 他町への影響にも配慮し検討します

久保田一郎 議員

本町の在宅寝たきり高齢者介護慰労金事業については、在宅で寝たきりの高齢者などを介護する人の労をねぎらうとともに、高齢者福祉の増進を図ることを目的に実施しています。

しかし、この10年間支給額は同じです。在宅で家族の介護をしている人については、もう少し町としても温かい思いやりの心を持って増額してほしいと考えます。町長はどのような見解なのか質問します。

町長

住民税の非課税世帯は年



在宅介護者にもっと支援を

間10万円、それ以外については8万円になっています。財政状況が非常に切迫している中ですので、微増程度なら可能と思いますが、他町への影響にも配慮し検討していきたいと思えます。

新年度の中で取り組みたいと思えます。

一般質問

Q 中小企業支援体制の強化を図る時機では
積極的に組織強化を検討します

河田敏勝 議員

急変する厳しい経済的・社会的環境は、中小企業にさまざまな影響をもたらしています。先日、大泉町ものづくりネットワーク協議会が自主的に設立されました。

このような自助努力の機運や、行政側の中小企業支援政策の役割が高まっている中で、本町における中小

企業支援体制の強化を図っていく時機にきています。町として、経済的・社会的変化などから生じる中小企業の課題や支援ニーズの把握など、今後どのように進めていきますか。

町長

今後積極的に経営トッ



期待される中小企業支援体制の強化

プと情報交換していきま
す。また、県・関係機関と
も連携して情報収集に努め
ます。
工業の町としての本町の
現状を考えると、工業振興
を図るセクシオンを考えて
いく時期とも思っています。
今後、組織全体の中で、
中小企業支援を強化する立
場から、積極的に組織強化
を検討していきます。

平成23年度予算要望

議会は、平成23年度予算要望を各常任委員会で調査・検討し、11月15日に町長に提出しました。
紙面の都合で内容の一部を紹介します。

総務・企画

他14件

1 行財政改革

- (1) 特区、地域再生、まちづくり交付金などの歳入確保
- (2) 公共施設の業務委託についての調査研究
- (3) 広域行政の枠組みの調査研究

2 交通環境整備

- (1) 公共交通機関の充実
- (2) チャイルドシートへの補助

3 防犯、防災、消防体制の充実

- (1) 自主防災組織の全行政区への設立
- (2) 広報、防災、防犯無線放送システムの早期構築
- (3) 消防団員の確保と待遇改善

4 官民協働のまちづくり

- (1) 外国人との共生促進

(2) 協働のまちづくりの体制整備

- 5 職場環境の充実
- (1) 職員の先進地視察など、積極的な取り組み
- (2) 人事評価制度の見直し

6 議会の環境整備

- (1) 本会議場の音響設備の充実
- (2) 全協室の音響設備の検討



大泉町多文化共生コミュニティセンター視察

福祉・文教

他26件

- 1 健康づくり
 - (1)がん撲滅対策推進条例の制定と各種がん対策の充実
 - (2)各種ワクチン接種への公的助成の実施と定期接種の推進
 - ・ヒブワクチン
 - ・肺炎球菌ワクチン
 - ・子宮頸がん予防ワクチン
 - 2 子育て支援・少子化対策
 - (1)第三子以降の助成制度の創設と乳幼児検診の拡大
 - (2)学童保育の4年生以上への拡大
(受益者負担)
- 3 高齢者支援対策
 - (1)介護予防対策の充実と訪問介護の普及
 - (2)敬老祝い金は、高齢者安否確認の意味も含め一定年齢から毎年支給するよう見直し
- 4 障がい者自立支援対策
 - (1)授産製品のPRと拡販への支援の推進
- (2)就労対策の強化(就労場所の確保・拡大)
- 5 学校教育
 - (1)いじめ・不登校対策の強化
 - (2)特別支援教育担当補助教員の増員
- 6 地域文化の振興
 - (1)文化財的価値の高い民家などの町指定重要文化財指定
 - (2)放課後子ども教室推進事業の早期実施



大泉町保健福祉総合センター視察

都市・環境

他22件

- 1 住民窓口業務のサービス改善
 - (1)行政相談・苦情事案への適切な対応
- 2 環境保全と環境衛生の整備
 - (1)不法投棄防止のために衛生委員に対する権限強化
 - (2)河川の水質浄化や騒音・大気汚染対策など、町民が安心して生活できる環境保全
- 3 産業振興と観光振興
 - (1)群馬DCに向けた大泉町観光協会や商工会との連携強化
 - (2)企業誘致を積極的に推進し、産業の活性化による新たな雇用の確保
- 4 生活圏道路の整備および側溝の新設改修
 - (1)町民要望の多い箇所や緊急度の高い道路整備・側溝整備の積極的な推進
 - (2)ゲリラ豪雨による道路冠水の見直し
- 5 都市計画事業の促進と公園管理
 - (1)安全安心な公園管理
 - (2)西小泉駅周辺再開発の調査研究
- 6 公共上下水道の整備
 - (1)安全な水道水の安定供給と、水道料金の値下げに向けた改善
 - (2)下水道整備の計画的推進と、未整備地域の認可区



西邑楽水質浄化センター視察

請願

【継続(2件)】

- 全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書
- 義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国負担割合を2分の1に還元することを求める意見書の採択に関する請願書
- ・理由：引き続き調査・研究を要する

3月定例会

□日時 3月2日(水)

午前10時〜(予定)

※皆さんの傍聴をお待ちしています。どなたでも気軽に傍聴できます。詳しくは、議会事務局へ。

■議会だより文責

議長 引間サチ子

【編集委員】

委員長 渡邊 明
副委員長 浅野正己

委員 田邊信雄
委員 山口将